

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成27年5月7日(2015.5.7)

【公開番号】特開2013-208048(P2013-208048A)

【公開日】平成25年10月7日(2013.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-055

【出願番号】特願2012-231025(P2012-231025)

【国際特許分類】

H 0 2 J 17/00 (2006.01)

H 0 2 J 7/00 (2006.01)

H 0 1 M 10/44 (2006.01)

H 0 1 M 10/46 (2006.01)

【F I】

H 0 2 J 17/00 B

H 0 2 J 7/00 P

H 0 2 J 7/00 3 0 1 D

H 0 2 J 7/00 3 0 1 E

H 0 1 M 10/44 Q

H 0 1 M 10/46

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月18日(2015.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、車輛に設けられた受電部に対して非接触で給電する給電装置に関する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明の一態様に係る給電装置は、車輛に設けられた受電部に対して非接触で給電する給電装置であって、前記受電部と対向して前記受電部に対して給電するリング状の給電コイルと、前記給電コイルを収納する筐体と、を具備し、前記筐体の前記受電部と対向する面である上面には、前記給電コイルを前記受電部の方向に向かって前記筐体に投影した際に前記給電コイルが投影される部分に、前記給電コイルの径方向において、頂部から前記給電コイルの内縁部に向かって徐々に前記給電コイルに近づく第 1 の傾斜部と、前記給電コイルが投影される部分に、前記給電コイルの径方向において、前記頂部から前記給電コイルの外周に向かって徐々に前記給電コイルに近づく第 2 の傾斜部と、が形成される構成を採る。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

車輻に設けられた受電部に対して非接触で給電する給電装置であって、
前記受電部と対向して前記受電部に対して給電するリング状の給電コイルと、
前記給電コイルを収納する筐体と、
を具備し、
前記筐体の前記受電部と対向する面である上面には、
前記給電コイルを前記受電部の方向に向かって前記筐体に投影した際に前記給電コイルが投影される部分に、前記給電コイルの径方向において、頂部から前記給電コイルの内縁部に向かって徐々に前記給電コイルに近づく第 1 の傾斜部と、
前記給電コイルが投影される部分に、前記給電コイルの径方向において、前記頂部から前記給電コイルの外周に向かって徐々に前記給電コイルに近づく第 2 の傾斜部と、
が形成される、
給電装置。

【請求項 2】

前記筐体の前記受電部と対向する面である上面には、さらに、
前記第 1 の傾斜部の前記頂部側と異なる端部と接する凹部が形成される、
請求項 1 記載の給電装置。

【請求項 3】

前記受電部に対して、電磁誘導または磁気共鳴を利用して給電する、
請求項 1 記載の給電装置。

【請求項 4】

前記筐体上の前記頂部の位置は、前記給電コイルの中心軸方向における、前記給電コイルの内縁部と外周との中間部の位置である、
請求項 1 乃至 3 何れかに記載の給電装置。

【請求項 5】

前記第 1 の傾斜部の表面、及び、前記第 2 の傾斜部の表面は、所定値未満の摩擦係数を有する材料に覆われる、
請求項 1 乃至 4 何れかに記載の給電装置。